

[目次]

2016年11月号

特別記事

宇宙を学べる大学・天文学者のいる大学
～2016年版～

沢 武文 2

投稿

ルミエネーションによる恒星の色再現

塩津朱里、木本晴夫
松本 桂 50

連載

宇宙を観じる生活を！(33) ～黄華堂ブログより～

黄華堂 57

花山天文台で行った生徒実習から【3】 サージの速度場

西村昌能、黒河宏企
石井貴子 60

社会教育施設について考える(WG報告)

～第2回：西日本データ・JAAA 年会参加報告編～

福澄孝博、
生涯学習施設支援WG 67

報告

天文教育フォーラム報告

～STEM/STEAM 教育と天文学～

山根弘也、鴈野重之 71

情報コーナー

会合やイベント

編集委員会 74

最近出版された天文関連書

編集委員会 75

事務局からのお知らせ

事務局 76

編集部より

9月は天気がぐずついて、ほとんど星が見られませんでした。10月から11月にかけては、星を楽しめる日も多かったように思います。西の空には土星、金星、火星が並び、そこに細い月が割り込んで、夕方の空を賑やかに彩っていました。

11月14日は、月が近地点ちかくで満月になるスーパームーンだそうです。数年前から降って湧いてきたような言葉ですが、多くの人たちが空を見るきっかけになるのは良いことだと思います。ニュースサイトなどでは月の軌道が

結構つぶれていることが紹介されており、現象と仕組みの理解が深まることでしょう。また月と風景を一緒に撮ってみよう、と撮影テクニックを紹介したページもありました。比較的容易な対象を題材に実際に行動してもらうことで天体写真の世界への入り口になることでしょう。

月や星をいろいろなやりかたで多くの方に楽しんでもらえれば嬉しいです。

2016年11月 編集委員長 松本直記